

No.35 昇竜



昇竜      しょうりゅう      syouryuu

分類：江戸系品種の「古花」。花被片数が多く、9枚程度になる八重咲き（多弁）花。晩生

花被片：形状は一番外側の花被片は円形で（5×4cm）、中心部に向かうにつれて楕円形、細長い楕円形と形状が変化します（5×2cm）。3の倍数で花被片数が増加していきます。一番外側の花被片は垂れますが、それより中心部の花被片は上に向かって伸長成長します（3×2cm）。花色は、薄い紫色地（白色に見える）に、青紫色の細く濃い筋が周縁部に向かって伸長します。脈の間は白色で青紫色の砂子模様があります。周縁部は赤紫色で、よく見ると細い白色の糸覆輪があります。

アイの周辺部は青紫色です。

一番外側の花被片は平滑ですが、中心部になるほど、形状も複雑になり、細く波打ってひねりが入ったようになります。

遠くから見ると、「花被片が複雑にあり、立ち上がる。花被片は青紫から赤紫色で、中心部は白く周縁部は紫色」に見えます。開花するにしたがって、形状は複雑になりますので、個体間差が大きく、同じ花容の写真は撮れないほどです。